



令和3年産竹田市水稻管理情報第7号

令和3年11月



9月25日現在の、大分県南部（竹田市含む）における水稻作況は98で「やや不良」でした。収穫後の本田管理、資材の在庫確認を適切に行いましょう。

収穫後の本田管理

(1) 雑草対策

防除が困難なオモダカやクログワイ等の主に塊茎（＝イモ）で繁殖する雑草が多い圃場では水稻の収穫後の防除が重要となります。

Point!

- 刈取り後の圃場への除草剤散布が効果的です。
再生した個体に、根まで枯らす除草剤(ラウンドアップマックスロード等)を茎葉に散布する。
注意1：散布する前に、雑草が大きく再生しているか確認する
注意2：散布する農薬は【水田刈跡】など農地に使えるか確認する
- 塊茎は乾燥や寒さに弱いので、秋から冬にかけて深めに耕起しましょう。
翌年の発生源を減らすことができます。
(※土壌が乾燥しない湿田などでは効果は小さくなります。)

どちらの対策も、単年ではなく複数年取り組むことで、難防除雑草を減らすことが出来ます。用水路や休耕田などの雑草がカメムシなどの害虫の越冬場所になります。合わせて作業しましょう。

(2) 土づくり

水稻が吸収する窒素の約半分は地力によって供給されます。地力窒素の多少が水稻の生育に大きく影響するため、堆肥や稲わらなどの有機物を投入する必要があります。

ア 稲わらのすき込み

- 収穫後、圃場が耕耘できる状態になったら年内に稲わらをすき込みましょう。
- 稲わらの分解が不十分だと翌年作でガスが発生しやすくなります。
年明けにすき込む場合は、石灰窒素や稲わら分解促進剤を施用しましょう。
- ツマグロヨコバイなど切り株や稲わらで越冬する害虫への対策としても効果的です。

イ 堆きゅう肥・土壌改良資材の施用

- 堆きゅう肥の効果として、「養分が豊富になる」、「土が柔らかくなる」、「有益な微生物が増加する」などの効果があります。
- 堆きゅう肥は10a当り牛ふん1.0～2.0t、豚ふん0.5～1.0t、鶏ふん0.3tを施用しましょう。
- 稲わらを圃場から持ち出した場合、特にケイ酸の収奪が激しく堆肥や土壌改良資材の投入が必要になります。

ケイ酸の効果

ケイ酸には、①光合成能力の向上、②根腐れや秋落ちの防止、③耐倒伏性の向上、④食味の向上などの効果がある。

ケイ酸は稲わらや籾に多く含まれ、水稻1作で60～100kg/10a程度吸収されるので、稲わらを持ち出した場合は特に補給する必要がある。



大分県農業協同組合豊肥事業部 農産課

63-4994

大分県豊肥振興局生産流通部 集落営農・水田畑地化第二班

63-3177